

” 四万十ドラマ特集 ”

この人、この組織

四万十川をまん中に、人の豊かさを考える

「四万十ドラマ」 ～畦地 履正～



原稿料は「四万十川の天然アユ1kg 3年分」。
ユニークな企画で18人の著名な方々に執筆いただき、
このほど四万十ドラマ（以下「ドラマ」）から出版された「水」の本が好評だ。
ドラマの職員として日夜奮闘している畦地さんが語ってくれた3年間の歩みと
抱負は！！

――ドラマ創立から3年間の歩みはいかがでしたか。

あつという間の3年間でした。最初は何から手をつけてよいのか分からず試行錯誤の連続。やっと「四万十川をまん中に、人の豊かさを考える」をテーマに、会員制度「RIVER」や「自然の学校」を起し、一部産直にも取り組みました。

会員の皆様とは、会員誌「RIVER」を通じてネットワークが広がり、交流が生まれました。この交流の中から、四万十川の人や地域の魅力が分かり合え、四万十川のことをより深く知ってもらっています。会員の人は皆、四万十川のために一役買いたいと思っているのではないのでしょうか。

さらに、四万十産の槍を使って「四万十の槍風呂」を販売し、会社の景品に使っていただいています。ただ、未だ一人立ち出来ないのが残念です。

――これだけのことを実質一人でやられたんですか、ガンバっていますね。

いや、いくら気持ちはあっても、僕だけの動きではとても出来ません。地域の人をはじめ多くの人々の支援のおかげです。各方面の方からも支援・協力していただいています。

――これからは、どんな方向へもって行かれるのですか。

ドラマは株式会社ですから、運転資金を生まなければなりません。このため、こだわりをもった地場産品の通販を始めたいと考えています。さらに会員数を増やし、会員の方々には四万十川の景観や観光面だけでなく、地元の人々の生活も産物も、それを作っている人も知ってもらいたい。地元の方々にはもっとドラマの活動に企画段階から加わり、知恵を出してもらって一緒に考えていきたいし、四万十川の本当の豊かさを地元の人も気づいて欲しい。

地元以外の人から意見もどんどん出してもらって、どうしたらいいか話し合える場もつくりたい。都市と田舎の人々が交流を通して、四万十川を活かした地域の活性化を図ることが僕の最終の願いです。



一口メモ

「四万十ドラマ」 TEL.08802-8-5527
FAX.08802-8-4875

四万十川中下流域の3町村（西土佐村、十和村、大正町）でつくる第三セクター（H6.11月設立）

【活動内容】

- ①会員制度「RIVER」：会員数約1,500人
情報誌発行（年2回）
- ②「自然の学校」：川エビ漁や木材加工など多彩な内容の自然体験学校の開催
- ③地場産品の販売：高知県産品計画機構と共同で、流域の旬の味覚と観光をセットにした商品売り出し中

～四万十情報～

<秋冬の「自然の学校」(予定)>

- 魚つりの学校…随時開講
- どんぐりを拾って育てる学校…11月9日
- お味噌つくりの学校…12月7日
- 春の七草つみの学校…1月11日
- お正月をお届けします…11/1～12/10受付
(ミニ門松と餅) 12/25～28発送

<「水」の本～エッセー集～>

米井重里さんや筑紫哲也さんなど各界の著名人18人それぞれの「水」に対する思いを綴ってもらいました。ただいま販売中！ A4判変形 170ページオールカラー
売価2,200円（消費税含・送料別）

お問い合わせはいつでも四万十ドラマまで